

山梨県水産技術センター・研究課題事前評価表

山梨県水産技術センター課題評価委員会(2011.9.27)

試験・研究課題名: トウモロコシ蒸留粕(DDGS)を使用した低魚粉飼料試験

大課題名: 養殖効率の向上

小課題名: 低魚粉化飼料の効果試験

細目課題: トウモロコシ蒸留粕(DDGS)を使用した低魚粉飼料試験

担当者名: 研究員 名倉 盾

| 評価項目 | 評価点 | 指摘事項 |
|---------------------------|---------|---|
| 1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ) | 5 / 5 | 魚粉の高騰が進むなか社会的ニーズは高い。 |
| 2 課題の新規性、独創性 | 5 / 5 | DDGSの有効活用という点で新規性は高い。 |
| 3 目的・内容の整合性 妥当性 | 5 / 5 | 目的、内容ともに妥当である。 |
| 4 研究手法の的確性、 技術的可能性 | 4 / 5 | DDGSの安定供給についても視野に入れて頂きたい。増肉単価を正確に測定して欲しい。 |
| 5 成果の期待度 | 5 / 5 | 大いに期待する。 |
| 総合評価 | 4.8 / 5 | 低魚粉化飼料の開発に大いに期待する。 |

「注」 評価点の目安

| 評価 点数 | 高い | やや高い | 普通 | やや低い | 低い |
|----------|----|------|----|------|----|
| | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

試験研究機関の処置

魚粉の供給状況は、非常に不安定である。今後も、魚粉の替わりとなる原料について研究していきたい。

有効性の評価については、増肉単価により実施するが、正確に実施していきたい。